

令和7年度 部別予算見積方針・要求一覧表（一般会計：枠配分対象経費）

様式0-1

部名 産業経済部

当初予算編成に係る方針

近江八幡市第1次総合計画の目標である『地域の魅力を掘り起こし、暮らしを支える産業を興します』に基づき、地域経済を支える農林水産業、商工業について、担い手や後継者の育成、雇用機会の創出などにより、魅力とやりがいのある産業として維持発展を推進するとともに、これらの産業振興施策において連携を図り、本市の基幹産業の体力増強と持続可能な発展を目指す。
また、近江八幡市第1次総合計画の後期基本計画において新たに取組方針として加えられた「企業誘致の促進」において関係機関との連携を図り、本市の景観保全や農業振興に配慮しつつ、新たな企業立地に伴う地域経済の活性化や本市の安定的な成長を目指す。
物価高騰対策については、国・県の動向を注視し現状を鑑みながら必要に応じて支援を検討していく。

予算見積要求一覧

(単位:千円)

課名等	当初2次歳出 予算見積額 総額 A	内ふるさと応援 基金特別枠 B	当初2次歳入 予算見積額 総額 C	内ふるさと応援基金特別枠		内ふるさと応援 基金(枠配分) 充当額 F	当初2次 枠配分 一般財源 G:(A-B)-(C-D-E)
				その他特財 D	ふるさと応援 基金充当額 E:B-D		
農業振興課	504,404		476,793		0	121,385	27,611
農村整備課	384,668		300,281		0	47,642	84,387
商工振興課	383,978	23,487	338,915	0	23,487	315,264	45,063
農業委員会事務局	13,660		4,233		0		9,427
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
合計	1,286,710	23,487	1,120,222	0	23,487	484,291	166,488

① ②

部配分ふるさと応援基金(枠配分)財源額	H	184,500
---------------------	---	---------

部配分一般財源額	I	179,968
----------	---	---------

部配分一般財源額(部間調整後)	I+J	179,968
-----------------	-----	---------

③
配分ふるさと応援基金を超過(①>③)

調整先部名・調整内容		J	部間調整額
部間調整	市民部・外来獣殺処分用ガス県費充当分		0
	人事課・職員給与充当		0

ふるさと応援基金新規・拡充特別枠対象事業

(単位:千円)

課名等	事業名	歳出要求額	事業概要
商工振興課	アクティ近江八幡改修工事実施設計	19,994	老朽化対策を施して、市内で起業を考える方が集まる施設とするため必要となる機能や空間を設計する。

予算見積における部の主要事業(当初1次基金対応事業を除く)

(単位:千円)

課名等	事業名	歳出要求額	一般財源	事業概要
農村整備課	世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策事業	135,194	296	農用地が保有する多面的機能を発揮させるとともに次世代に引き継ぐため、地域ぐるみで多様な取り組みを実施するための財源を確保する。
農業振興課	切通し舟だまり整備事業	145,000	3,900	漁業振興とともに、増加する観光客等の安全確保のため切通し舟だまりに防波堤を整備する。
商工振興課	製造・加工事業者創出促進事業	300,045	0	事業者が魅力的な地場産品等を製造・加工するにあたり、新たな商品の製造・加工や生産拡大を支援することで、製造基盤の強化を図る。

枠配分達成に向けた、歳入確保・歳出削減に対する主要な取り組み

(単位:千円)

課名等	事業名	区分	歳入確保額 歳出削減額	取り組み内容(増減要因)
農村整備課	世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策事業	歳入	101,256	農用地が保有する多面的機能を発揮させるとともに次世代に引き継ぐため、地域ぐるみで多様な取り組みを実施するための財源を確保する。
農業振興課	切通し舟だまり整備事業	歳入	141,100	漁業振興とともに、増加する観光客等の安全確保のため切通し舟だまりに防波堤を整備するにあたり、辺地対策事業債を活用し、財源を確保する。
商工振興課	商工業振興事業	歳出	5,050	小口簡易資金制度の需要低下に伴う見直しをおこない、類似する他の融資制度を利用することで支出を抑制する。
農業委員会事務局	農業委員会運営事業	歳出	797	農地台帳に関する調査(8・1調査)の廃止。

特記事項: